



# べあーずだより

No.10 H30. 2. 1

寒さが最も厳しい季節ですが、子どもたちはますます元気です。

室内遊びが中心になりますが、天候の良い日は園庭や散歩に出かけ、寒さに負けず元気いっぱいフル回転で遊んでいます。冬ならではの自然に触れ、いろいろな発見をしていきたいと思ひます。



りすぐみ

好奇心旺盛で、活発に探索活動を楽しんでいるりすぐみさん。最近遊びの中で、綿やスポンジなどに触れ、スタンプ遊びをしたり、袋に入れてガサガサ音が鳴るのを楽しんだりしています。不思議そうに眺める子や何度も握って喜ぶ子などさまざまな表情が見られてとても微笑ましいです。これからもいろいろな感触を味わえるように、いろいろな素材を取り入れていきたいと思ひます。

シール貼りやのりを使った製作遊びに意欲的なうさぎぐみさん。はじめは台紙からシールをはがすのが難しかった子も保育者が何回か援助をすると自分でできるようになってきました。手先が少しずつ器用になり、成長を感じられ嬉しく思ひます。

おやつや給食も「おいしそうだね。」と喜んで食べています。時々手づかみで食べる子もいますが、最近はおぼしも少なくなり、残食がない日も多くなりました。

うさぎぐみ



こぐまぐみ

パズルやかかるたが大好きで、順番にしたり、みんなで一緒にしたりして楽しんでいます。アンパンマンかるたでは、以前は好きな取り札を持って遊ぶだけでしたが、今では保育者が読むと「これ！」と素早く取って大喜びの子どもたちです。好きな札が取れなかったときは悔しがることもありますが、ルールを伝えながら、みんなで楽しんでいます。

1月から給食後に歯みがきを始めました。準備から片づけまで喜んで意欲的にしています。歯みがきの仕方を伝えながら見守っていききたいと思ひます。

## ※ 雪がふったよ ※

積雪があった日、登園した子どもたちが口々に「雪が降った！」「車が白かった！」と嬉しそうに話していました。「雪あそびする？」と聞くと「行く！行くー！」と興奮気味に準備をしていました。

真っ白な雪の上に足跡がつくと、「これ〇〇ちゃんの足！」と雪の感触を確かめながら歩き回ったり、雪玉を作って雪合戦やおままごとをしたり、寒さや冷たさに負けず楽しむ子どもたちでした。

また、別の日には雪をお椀などに入れ、保育室で雪あそびをしました。りすぐみさんも指でついて雪の感触を味わっていました。

食紅で雪に色をつけ、かき氷をつくったり、ごちそうに見立てておままごとをしたりしてやりとりを楽しんでいました。また積雪があった日には雪あそびを楽しみたいと思ひます♪



## 今月の活動

- ・ 天候の良い日は散歩に出かけ、冬の自然に触れて楽しみたいと思ひます。
- ・ リズムあそびや運動あそびを通して、体を動かしたいと思ひます。